
「つながる」を当たり前
豊川保育園と豊川小学校の保小連携活動
研究のまとめ



令和3年3月

社会福祉法人豊川福祉会豊川保育園 ・ 益田市立豊川小学校

1 研究の目的

(1) 小学校、幼児教育施設の実態、課題

益田市立豊川小学校と豊川保育園は市中心部から約 5 キロの位置に隣接して設置している。

豊川小学校はコミュニティスクールに指定され 6 年目になる。全校児童 36 名で複式学級を有する小規模校である。



豊川保育園は園児 40 名で、体験を通した「生きる力の育成」を通した子どもの

可能性を追求する保育理念を掲げ、日々保育活動を行っている。本校では、数年前より、1 年生と保育園の年長児の交流



学習を毎月行っている。また、平成 30 年度には、益田市版接続カリキュラム（スタートカリキュラム）により、新 1 年生がスムーズに小学校生活に対応していけるよう取り組んできた。また、立地条件を生かして、休憩時間には、保育園児も校庭で児童と共に遊んでおり日々の生活の中でも交流が図られている。

一方で、幼小接続の段階を示すステップに本校を当てはめると、長く「ステップ 2」が続いている状態であることがわかった。改めて保小交流について見直すと、学校全体として交流に取り組むためには、教職員の幼小連携接続に対する理解の伸長が必要であると感じた。また、新学習指導要領全面実施における、1 年生生活科で求められる資質能力に照らし合わせた交流のねらい等について見直す必要があることが分かった。さらに、スタートカリキュラムの内容と実際の年長児の実態がそぐわない部分も明らかになった。

(2) 研究の目的

そこで、この 2 年間の研究の目的を、よりスムーズな幼小接続を実現するための幼小連携接続について教職員の理解を深めることと、新学習指導要領にもとづいた交流の在り方やスタートカリキュラムの検討を行うこととした。そして、これらの取組により最終的に幼小接続の段階を「ステップ 4」に高めることをめざした。

ステップ0	連携の予定・計画がまだ無い。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した課程や計画の編成・実施は行われていない。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した課程や計画の編成・実施が行われている。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された課程や計画について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について（報告）」における 5 つのステップより

2 重点的な取組計画

	令和元年度	令和2年度
5月	お散歩 しっぽとり	人参の種まき しっぽとり
6月	さつまいもの苗植え	さつまいもの苗植え
7月	運動会のポンポン練習 工作	川遊び
9月	運動会の合同種目練習 運動会のマーチング練習	運動会のポンポン練習 運動会の合同種目練習 運動会のマーチング練習
10月	絵の具遊び	いも掘り 秋見つけ
11月	いも掘り	秋祭り
12月	さつまいもクッキング	さつまいもクッキング
2月	給食試食会	給食試食会

☆その他

- ・ 保育園児が小学校の校庭に散歩に来る
- ・ 小学校の行事や学習の様子を見に学校へ来る
- ・ 休み時間に児童と園児が校庭などで触れ合う
- ・ 委員会活動で保育園へ「読み語り」に行く
など、学校全体で不定期に交流活動を行っている。

3 主な取組の実際

(1) 子どもの交流 【サツマイモの苗を植えよう】

〈令和元年度〉

○ねらい

〈小学生〉自分たちで調べたサツマイモの植え方を園児に分かりやすく説明する。

〈保育園〉一年生に教えてもらいながら、苗植えを行う。

〈全 体〉協力して活動し、より仲良くなることができる。

○計画

- ・ 学校園集合
- ・ はじめの会
- ・ サツマイモ植え
- ・ 終わりの会

○子どもの様子

2回目の交流ということで、まだお互い緊張している様子が見られた。しかし、畑に立てる看板作成の際には、「何色がいい。」と聞いたり、文字が書けない園児

の代わりに名前を書いてあげたりするなど優しくかかわることができた。

畑に移動し畝づくりになると、小学生も園児も黙々と作業していた。活動の途中で「ミミズがおった。」とつぶやいたり、土の感触を楽しんで土団子を作って楽しんだりする様子も見られた。大変な作業だったが、活動から大きくそれる児童や園児は見られず、協力して取り組むことができた。

○成果

令和元年度は、「マルチがけ」も行った。事前に小学生が植え方を調べていると、マルチのことが記載されていたので、「児童の調べた方法で植える」ということに重点を置いてさつまいも植えをすることにした。その結果、作業に時間や意識を取られてしまい、深いかかわりをするのはあまりできなかったように感じた。また、活動中の自然な関わりや、土や虫など自然と触れ合っている様子をもとめることもできにくかった。

小学生は、年下の子どもに分かりやすく説明したり教えたりすることの難しさを実感し、工夫して説明しようとする姿が見られた。



事前の調べ学習の様子

〈令和2年度〉

○ねらい

〈小学生〉自分たちで調べたサツマイモの植え方を園児に分かりやすく説明する。

〈保育園〉一年生に教えてもらいながら、苗植えを行う。

〈全 体〉協力して活動し、より仲良くなることができる。

○計画

・令和元年度と同じ

○子どもの様子

小学生は、昨年度、さつまいもの苗植えを経験している児童が多く、見通しをもって意欲的に準備や本番の活動に取り組む様子が見られた。また、当日は、以前、自分が言われてうれしかった言葉をかけ、優しく関わることができていた。保育園児も1年生を頼りにして真剣に話を聞いたり、楽しそうに会話をしたりして互いに良いかわり



ができていた。畝を作るところからすべて子どもたちで行ったが、小学生も保育園児も集中して最後まで苗を植えることができた。今回は、まだ2回目の交流だったが、この活動を通して豊川保育園以外から入学してきた児童も仲を深めることができ、全員が次の交流への意欲を高めることができた。



○成果

昨年度と同じ活動を取り入れ、内容を簡単なものに改善したことで、児童や教員、保育士も活動に意欲的に取り組むことができた。同じ活動でも内容を見直すことで、子ども同士の自然な対話が生まれやすく、大人もその様子を把握することができた。

また、毎年同じ活動を交流に取り入れることで年度や担任が変わっても活動しやすいというよさも感じることもできた。



児童のふりかえり



(2) 教職員の研修

① 小学校教員による保育体験

○ねらい

保育体験を通して、幼児教育に対する理解を深め、幼小接続カリキュラム推進の参考とする。

○令和2年度の計画（令和元年度も同様に実施）

- 日 時 12月28日（月） 1月7日（木） 9：00～11：30
内 容 ・園の概要やクラス毎の保育の目的等について園長より説明
・保育体験（各クラスに分かれて）

○成果

9名の職員が、2回に分けて参加した。始めに園の方針について説明を受けたことにより保育士の言葉がけや役割等が把握でき、スムーズに体験に入ることができた。感想として、「保育園で培った力を活かせるように、小学校でもなるべく自分たちでするように、見守る姿勢が必要だと思った。」「つい手を出したくなる場面でも、保育士は見守り、子ども自身が体験を積み重ねることが大切だと思った。」等、子どもとのかかわりや支援について多く挙げられた、体験を通して、幼児教育について理解を深めたり、園児の実態を把握したりすることができた。



② 図画工作科の研修

○ねらい

図画工作科の授業を通して保育園と小学校の教員が一緒に学び、小学校教育でめざす姿に対する理解を深め、幼小接続カリキュラム推進の一助とする。

○令和元年度計画（令和2年度も実施）

- 日 時 2月17日（月） 15：15～16：50
内 容 福井一尊准教授（島根県立大）による図画工作科の示範授業と講義

○成果

「幼児期に育ててほしい10の姿の中から、図画工作科につながるものの共有や小学校の図画工作科の目標との関連性について理解することができた。」「保育所保育指針と小学校の学習指導要領の繋がりについて考え、相互理解する機会となった。」等の感想が多く聞かれた。



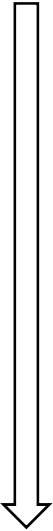
(3) 接続期の教育・保育活動

〈小学校の実践〉

○ねらい

- ・接続期の教育活動を充実させることで小学校生活の見通しをもち、4月からの学校生活を安心して送ることができるようにする。

○計画

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・いくぞ！がっこうたんけんたい（生） ・あかるいあいさつ（道） ・はりきりいちねんせい（道） ・よろしくね（国） ・ひととつながることば（国） ・こえをとどけよう（国） ・えんぴつをつかうときにたしかめよう（国） ・かいてみよう（国） ・ほんがたくさん（国） ・うたっておどってなかよくなるろう（音） ・すきなかたちやいろいろなあに（図） ・1年生なかよくなるろうね会（特） 	生活科を中心とした合科的な学習 	週案の配付
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・げんきにそだてわたしのはな（生） ・みんなにはなそう（国） ・ぼくは、きゅうしょくとうばん（道） ・すなやつちとなかよし（図） 		
6月	小学校の生活時程や教育課程に合わせた学習へ		

○成果

入学直後は、時間にとらわれすぎずに1単位時間の中に複数の活動を入れ、児童が集中できる時間を抒徐々に伸ばしていけるようにした。また、学校探検や造形遊びなど、保育園で行ってきた遊びに通じる学習活動を多く取り入れ、次第に学校の生活時程に慣れていくことができた。また、着替えや整理整頓、時計の読み方は写真や絵を教室の中に掲示することで、ひらがなが読めない児童も自分から身の回りのことができるようになった。入学したての頃は、これまでと環境が大きく変わっているため、視覚的な



支援や学習内容の適切な設定が非常に大切であると感じた。4月は不安な気持ちで登校してくる児童が多くいる。したがって、担任が一人一人の様子をよく見て学級の実態に応じた学習や言葉がけなどをしていくことも大切である。また、毎年様々な児童が入学してくるため、計画にとらわれず発達の段階をよく理解して接続期の教育活動を考えていくことも必要であると感じた。特に、令和2年度は、保小交流で小学校に慣れている児童が多く、計画よりも早く学校生活に順応することができた。

〈保育園の実践〉

○ねらい

- ・小学校生活への期待感を醸成しながら、4月からの学校生活を安心して迎えることができるようにする。

○計画

12月	ひらがなや数を書く練習（～3月）	遊びを中心とした総合的な学び	保育の内容		
1月	小学校見学（吉田小学校・益田小学校など）		養護	生命の維持	運動と休息のバランスや調和を取り、基本的な生活習慣を身につける
				情緒の安定	・生活リズムに応じた活動内容の調和を図り、休息がとれるようにする
2月	はっぴょう会 給食試食会（豊川小学校） お別れ遠足		教育	健康	・健康とは生きる事の基本であることがわかり、自分の体を大切にすることを考える。 ・危険から身を守る注意力を身につけ、行動する
				人間関係	・社会生活における、決まり事を理解し、必要な習慣や態度を身につけて自分の力で行動する ・遊びや行事を通して友だちを応援したり、力を合わせたりすることの大切さを知る
				環境	・身近な事象を見たり考えたりする中で、物の性質や時刻・数量・文字などに対する関心を深める ・自然界の美しさ・不思議さに感動する
3月	年長児保育参観 おわかれ会 卒園式		教育	言葉	・人の話を聞く大切さがわかり、言葉を通して内容を理解する楽しさを知る ・日常生活の中で、文字で伝える楽しさを知る ・自分の経験や思い、考えを自分の言葉で話し伝える
				表現	・感じたことを言葉や体、音楽、造形など自由な方法で感性豊かに表現して楽しむ ・共通の目的に向かって協力し合い、一緒に作り上げることを楽しむ
		食育	食を営む力の基礎	・食事と栄養のバランス(三食表)に興味を持ちながら食事をする ・食べ物に感謝の気持ちを持ち、食を楽しむ	

○成果

豊川小学校との年間を通じた連携活動により、豊川小学校入学予定の児童は小学校入学への期待感が高まり、小学校生活への不安はほとんど見られなかった。しかし、他の小学校への入学予定児童の中には、入学への不安を話す者もいたため、令和2年度は、年長児全員で豊川小学校以外の見学に園外保育で行った。年長児それ

それぞれの入学への期待を高める工夫に取り組んだことで、子どもと保護者の入学への不安軽減に繋がった。

今後、益田市全域で幼小連携活動が進み、全ての児童が、これまで以上に安心して小学校入学ができるようになることを期待したい。

4 接続カリキュラムについて

(1) カリキュラム作成の基本方針

平成30年度に益田市版接続カリキュラムが作成された。これをもとに、保育園が5歳児アプローチカリキュラムの部分を、小学校が1年生スタートカリキュラムの部分をそれぞれ検討し、豊川小学校校区の接続カリキュラムを策定した。ただし、平成30年度は、豊川小学校校区の接続カリキュラムについて具体的な協議の場を持つことはなかった。

そこで、年間の交流活動を終えた令和元年度末に、保育園、小学校それぞれの子どもの実態をお互いが知った上で、改めてこの接続カリキュラムについて検討することとした。また、令和2年度も同様に修正作業を行った。


(接続カリキュラムについて：資料参照)

(2) カリキュラム改善の実際

年度末に、保育園と小学校、行政の担当者が集まり、接続カリキュラムの検討をした。事例として、カリキュラムに示してある「豊かな体験」領域の中の「運動体験」項目の表現を確認した際に、小学校では少人数のため2列や名前順で並ばせることが少ないことが挙げられた。このことから「場に応じた整列の仕方を学ぶ」に表現を変更した。また、「読書」の項目では、保育園では読み聞かせだけでなく、年長児になると自分で本を選んで読む姿が見られることが分かった。小学校では入学当初から自分で本を選んで読むようにしていることから、実態に合わせて、「読み聞かせや自分で本を選び読む」表現を変更することとした。

接続カリキュラムを基に話し合う中で、学校や保育園での子どもの姿や実態について共有するよい機会となった。

<接続カリキュラムの見直し>

運動遊び中心	体育学習による運動	○2列、名前順など様々な整列の仕方を学ぶ。 ○ルールを守って楽しく運動をする。
		○集団行動に慣れる。
読み聞かせ中心	読み聞かせから、自分で本を選び読む	○聞く読書も大切にしながら、自分で読む読書活動も徐々に行う。
		
運動遊び中心	体育学習による運動	○場に応じた整列の仕方を学ぶ。 ○ルールを守って楽しく運動をする。
		○集団行動に慣れる。
読み聞かせや、自分で本を選び読む	自分で本を選んで読む	○聞く読書も大切にしながら、自分で読む読書活動も徐々に行う。

5 幼小連携・接続に関する年間計画

1年生「生活科」年間指導計画

益田市立豊川小学校

令和元年度 (102h)	1学期			2学期			3学期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	がっこう だいすき	きれいにさいてね (さつまいもをうえよう)		なつだあそぼう (たなばたかざりづくりをつくろう)			いきものと なかよし	いものしゅうかく	しゅうかくさい		むかしの遊び	もうすぐ2年生 じぶんでできるよ	
はるみつけ	よもぎだんごづくり		なつやすみをたのしくすごそう			たのしいあき いっぱい	つくろあそぼう	ふゆをたのしもう					
保小交流	おさんぽ		いもうえ	運動会練習(行事)			えのぐ遊び	いもほり	収穫祭	昔の遊び	1日入学	できるようにな ったよ	
全体のねらい	・楽しい時間を共有し、かかわりを深めていく。		・協力して活動し、より仲良くなることができる。	・運動会の練習を行い、一緒に頑張ろうという気持ちをもつ。			・運動会の練習を行い、楽しい運動会にしたいという気持ちをもつ。	・ルールを守りながら、楽しい活動にしたいという気持ちをもつ。 ・絵具を使って、手や指を使って描くことを楽しむ。	・ルールを守りながら、安全で楽しい活動にしたいという気持ちをもつ。	・安全に気を付けて楽しい活動にしたいという気持ちをもつ。	・正月の遊びを体験し、日本の伝統的な文化にふれる。	・一緒に小学校での生活を体験し、次年度に向けての見通しをもつ。	
保育園児のねらい	・一年生となかよくなる。		・一年生に教えてもらいながら、苗植えを行う。	・ポンポン練習を楽しむ。			・連合運動会の流れを知る。	・感触を楽しみながら楽しく交流する。	・さつまいもの収穫を小学生と楽しむ。	・一年生と一緒にクッキングを楽しむ。	・お正月遊びを楽しむ。	・小学校生活に興味を持ち、楽しみながら過ごす。	
小学生のねらい	・自分の通学路を歩き、道の様子や安全について考えることができる。 ・園児と一緒に活動することで、年下の人とのかかわり方を学ぶ。		・自分たちで調べたサツマイモの植え方を、園児に分かりやすく説明できる。	・園児と一緒に活動したり教えたりすることで、年下の人とのかかわり方を学ぶ。			・園児と一緒に活動したり教えたりすることで、年下の人とのかかわり方を学ぶ。	・園児と一緒に活動したり教えたりすることで、年下の人とのかかわり方を学ぶ。	・園児と一緒に活動したり教えたりすることで、年下の人とのかかわり方を学ぶ。	・園児と一緒に調理したり食事をしたりすることで、年下の人との楽しいかかわり方を学ぶ。	・こまの回し方を教える活動をおし ・保育園児に給食の配膳の仕方を知ってもらい、楽しく給食を食べる。 ・保育園児の前で学習の成果を発表することで、本番に向けて努力したり、自分の成長を感じたりする。	・保育園児と一緒に活動することで、年下の人との関わり方を学んだり、みんなが楽しくすごしたりできるように行動している。	
教科・行事との関連 (交流会の練習は主に生活、学活、国語の時間で行う。)	はるみつけ(生) つうがくろをあるこう 「きをつけて」(道) 交通安全教室(行)		きれいにさいてね (生)(植物の栽培)	マーチングのポン ポン練習(体)			保小交流種目の練習 (体)	てでさわって、 えのぐきもちい い!(図)	あきみつけ(生)		昔の遊び (生)	もうすぐ2年生(生) 「じゃんけんやさん」をひらこ う(国) きらきらぼし(音) ころのはなをさかせよう (図)	

令和2年度 (102h)	前期					後期						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	がっこうだいすき あいうえお	げんきにそだてわたしのはな さつまいもをうえよう			げんきにそだてわたしのはな			ひろがれえがお いものしゅうかく	しゅうかくさい		むかしの遊び	
いくぞ! がっこうたんけんたい	なつとなかよし (たなばたかざりづくりをつくろう)			生きもの 大すき		あきとなかよし		ふゆとなかよし				1日入学
保小交流	レクリエーション	いもうえ	川遊び		運動会練習	いもほり	秋祭り	収穫祭		昔の遊び	給食試食会	
全体のねらい	・楽しい時間を共有し、かかわりを深めていく。	・協力して活動し、より仲良くなることができる。	・川での遊びや、生き物に触れる活動をとおして、より仲良くなる。		・一緒にポンポンの練習をする活動を通して、より仲良くなる。	・一緒に育てたサツマイモを収穫して喜びを分かち合い、仲を深める。	・今までに見つけた秋の自然物などを使って一緒に工作やゲーム、発表などを楽しむ。	・一緒に掘ったサツマイモを調理して食べることで、これまでの交流をふりかえり楽しい時間を共有する。		・正月の遊びを体験し、日本の伝統的な文化に触れる。	・一緒に小学校での生活を体験し、次年度に向けての見通しをもつ。	
保育園児のねらい	・1年生となかよくなる。	・1年生に教えてもらいながら、苗植えを行う。	・遊びを通してかかわりを深める。		・ポンポン練習を楽しむ。	・さつまいもの収穫を小学生と楽しむ。	・自然物を使ったおもちゃに興味を示し、楽しむ。	・1年生と一緒にクッキングを楽しむ。		・お正月遊びを楽しむ。	・小学校生活に興味を持ち、楽しみながら過ごす。	
小学生のねらい	・1年生が中心になり、これから楽しい活動にしていきたいという思いをもつ。 ・園児と一緒に活動することで、年下の人とのかかわり方を学ぶ。	・自分たちで調べたサツマイモの植え方を園児に分かりやすく説明する。	・楽しい活動にしたいという気持ちをもち、安全に気をつけて活動する。		・マーチングと一緒に頑張りたいという気持ちをもち、保育園に分かりやすく振付や並び方等を教える。	・安全に気をつけて楽しい活動にしたいという意識をもち、優しく声をかけたり分かりやすく教えたりする。	・保育園児に分かりやすく説明したり困っている時には声をかけたりしながら一緒に秋祭りを楽しんでいる。	・保育園児や自分たちの安全に気をつけて活動しようという意識をもち、収穫したサツマイモと一緒に調理したり食べたりすることを楽しむ。		・遊び道具の作り方やこまの回し方を教える活動を通して、年下の人との楽しいかかわり方を学ぶ。	・保育園児と一緒に活動することで、年下の人との関わり方を学んだり、みんなが楽しくすごしたりできるように行動している。 ・保育園児に給食の配膳の仕方を知ってもらい、楽しく給食を食べる。 ・保育園の前で学習の成果を発表することで、本番に向けて努力したり、自分の成長を感じたりする。	
教科・行事との関連 (交流会の練習は主に生活、学活、国語の時間で行う。)	・からだほぐしのうんどうあそび(体)	・げんきにそだてわたしのはな(生)	・あそびばにでかけよう(生) ・なつとなかよし(生)		保小交流種目の練習(体)	・あきとなかよし(秋探し)(生)	・あきとなかよし(制作活動)(生) ・お楽しみ会をしよう(学)		・ふゆとなかよし(生)	・小学校のことをしようかいしよう(国)		

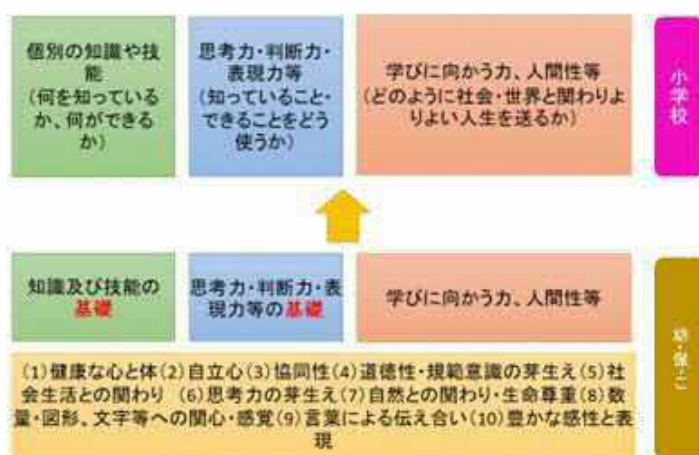
6 研究の成果と課題

【取組みの成果】

- ・2年間の取組により、「実施結果を踏まえ、さらによりよいものとなるよう検討を行った」こと等から、ステップ4になったことが、大きな成果として挙げられる。

ステップ0	連携の予定・計画がまだ無い。
ステップ1	連携・接続に着手したいが、まだ検討中である。
ステップ2	年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を見通した課程や計画の編成・実施は行われていない。
ステップ3	授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した課程や計画の編成・実施が行われている。
ステップ4	接続を見通して編成・実施された課程や計画について、実施結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

- ・幼児期の終わりまでに育ててほしい「10の姿」をベースに培った力が1年生の基盤となり、さらに小学校の学習指導要領で育成を目指す資質・能力の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」そして、「学びに向かう力」の獲得に繋がっていることがわかった。さらに、この繋がりを意識しながら、接続期の活動を一緒に行うからこそ見えてくる姿を共有し、接続カリキュラムに反映させることができた。



- ・接続カリキュラムに基づき、保育園・小学校接続期の子どもの姿について話し合うサイクルができたことや、年長児～小学1年生の2年間の子どもの育ちを保小が共に考えられるようになった。

- ・保育体験を通して、職員の子どもを見る視点が広がり、関わりも見直すことができた。
- ・コミュニティスクールを支える地域団体への情報提供や保護者への保小連携接続の取組の周知を通して、地域住民の理解が広がりつつある。



【今後の課題】

- ・持続可能なものにしていくために、全職員への幼小連携への理解を広げる。
- ・生活科の年間計画の中に、交流について明記する。
- ・市全体の取組となるように広げていく。

発達過程 資質・能力	領域	項目	5歳児アプローチャカリキュラム（主な経験内容）	接続期のこどもにとっての段差	小学校1年生（6歳児前期）スタートカリキュラム（主な経験内容）	資質・能力	
生活する力	健康な生活	食育	○給食を通して、地元の食材に関心をもったり、作る人への感謝の気持ちをもつ。	子どもに合わせた一定量で概ね決められた食事時間	決められた食事時間	○食器の大きさの違いや時間内に食べられる量を考えて盛り付けの量を調整し、苦手なものも少しずつ食べるようになる。 ○食べる時間を示し、決められた時間で食べられるようになる。	思考力・判断力・表現力
			○食べ物を大切に作る気持ちをもつ。 ○盛り付け方や自分で食べられる量が分かる。 ○時間を意識して食べる。 ○食事のマナーを知り、守ろうとする。 ○栽培活動やクッキングなどを通して食への関心をもつ。 ○当番活動を喜んでする。				
	排泄・衛生	○保育活動や生活の流れを意識して排泄するようになる。 ○場所に応じた排泄の仕方を知る。	自由な時間でのトイレ	決められた時間でのトイレ トイレに行きたい時には、声をかけて行く。	○決められた時間にトイレを済ませる。 ○男子はズボンを全て下ろさなくても排泄できる。		
		○朝の排便が習慣にできる。（家庭への働きかけ） ○1日の生活の流れを意識して排泄ができる。 ○自分一人で排泄の始末、手洗い、手拭きができる。					
	安全な生活	安全な生活	○危険な遊び方や場所を知り、安全に行動しようとする。 ○園外保育や交流保育等で、公共の場での過ごし方を知る。 ○諸感覚を使って遊ぶ。	バスや自動車での登降園（保護者による送迎）	徒歩での登下校（児童だけの集団）	○学校内外の危険な場所やルールを知る。 ○上級生や教員に教わりながら気をつけて登下校する。	
自立した生活	時間の意識	○カレンダーや時計等を見ながら、時間を意識した活動をする。	保育者の声掛けで行動することが多い	チャイムを聞いたり、他者の動きを見たりして判断して行動する生活	○一日の生活を掲示し、授業時刻についての意識が持てるようになる。 ○休み時間を確実にとり、チャイムを意識した生活ができるようになる。		
	身辺整理	○身辺整理ができる。（自分の物はロッカーやかばんにしまう、靴を揃えるなど） ○下駄箱の靴やトイレのスリッパをそろえる事ができる。 ○道具を使った掃除の仕方を知る。	促されて身支度や整理整頓する	自分で身支度や整理整頓をする生活が増える	○学習しやすいように机を整えようとする。 ○ロッカー、机の中の必要なもの、不要なものを識別でき、整理整頓をしようとする。 ○清掃の仕方や掃除道具の使い方に慣れる。		
かかわる力	人かや地域との関係	友達との関係	○友達の力を借りたり励まされたりしながら難しいことでもやってみようとする。 ○共通の目的に向かって友達と考えを出し合い、折り合いをつけて一つのことを達成する。 ○けんかやトラブルの経験から相手の思いに気づく。 ○経験したことを遊びに取り入れたり、友達とイメージを共有しあいながら遊びを楽しむ。	自分の興味関心が中心 協調性が芽生える	友達と協調して活動する	○隣同士や小グループでの活動を大事にし、徐々に学級や学年、異年齢交流などで多様な集団活動の楽しさを知る。 ○集団ゲームを通して、友人関係をつくる。 ○けんかやトラブルの経験から対応について知る。 ○活動を通してお互いの良さがわかり合えるようになる。	益田の良さをかき愛着をもつ 学びに向かう力・人間性の涵養
		地域との関係	○地域の様々な人との触れ合いを通して、感謝の気持ちやあこがれの気持ちを抱く。 ○地域の様々な活動を通して、自分が役立つ喜びを感じたり、地域に親しみをもったりする。	地域の様々な人 もの・ことにひたる	地域の様々な人 もの・ことにひたる		
		あいさつ	○自分から元気にあいさつをしたり、感謝の気持ちを言葉で伝えたりする。 ○相手を見て「はい」の返事ができる。	誰かがそばにいて一緒にしてくれる	自分で進んでする		
	きままりを	規範意識	○集団での様々な体験を通して、してよいこと、よくないことに気づく。 ○共同のものを譲り合って使う。 ○みんなで使うものを大事にする。 ○楽しく生活する中で決まりの大切さに気づき、守ろうとする。	集団の中で友達の気持ちを少しずつ理解する	友達のことを考えルールを守る生活	○集団行動の決まりや約束を守って生活しようとする。 ○後片付けができ、公共物を大切に扱えるようになる。 ○個人のもの、みんなで使うものを区別し、大事にできる。 ○集団行動・移動・整列の仕方を知り、やり方が分かる。	
伝える力	聞く・話す・伝える	聞く・話す	○見つけたこと、気づいたこと、思ったこと、感じたことなどを友達や保育者に話す。 ○感謝の気持ちを持ち、その気持ちを表現する。 ○困っていることやしてほしいことを自分の言葉で伝える。 ○言葉でのやりとりを通して、友達の思いを知ったり、気づいたりする。 ○掲示物を見ながら話を聞く。 ○大勢の人の前で話す経験をする。	相手の思いに気づくことができるようになる	相手の気持ちを考えて聞いたり話したりする	○ペアで思いを語りあったり、話したい気持ちや、聞いてほしい気持ちをお互いに尊重したりする。 ○掲示物や黒板を目で追いながら、話を聞く。 ○朝の会、帰りの会、行事の司会など大勢の人の前で話すことに慣れる。	
		読み聞かせ	○身近な自然を全身体感する。 ○様々な自然を見たり、触れたりして美しさや不思議さなどを感じる。 ○身近な自然に好奇心や探究心をもって積極的に関わる。 ○動植物との関わりの中で命の大切さを知る。	五感を使った実体験中心	教科学習への関連付け	○植物・虫など地域の自然にふれ、自然への興味関心を抱くことができる。 ○活動の中で文字や数への興味、関心が持てる。	
学ぶ力	豊かな体験	運動体験	○散歩や戸外遊び等を積極的にし、体を動かす楽しさを知る。 ○集団あそびやルールのある遊びを友達と楽しむ。 ○遊具や道具等を使って、いろいろな運動や遊びに挑戦する。 ○自分なりの目標をもって、繰り返し挑戦したり、友達と競争したりする。	運動遊び中心	体育学習による運動	○場に応じた整列の仕方を学ぶ。 ○ルールを守って楽しく運動をする。	
		読書	○絵本や民話等を聞き、お話の楽しさを感じたり、イメージを膨らませたりする。	読み聞かせや、自分で本を選び読む	自分で本を選んで読む	○集団行動に慣れる。 ○聞く読書も大切にしながら、自分で読む読書活動も徐々に進行。	
	豊かな表現	創作・表現	○自分が体験したことや考えたことを絵に描いたり、廃材等を使いながら作ったりする。 ○自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして遊ぶ。 ○歌をうたったり、簡単なリズム楽器を使ったりする。	音楽や造形での表現遊び	音楽や造形学習での創作・表現	○簡単な製作活動で材料、用具の経験を積む。 ○簡単な曲を歌ったり、リズムを楽しんだりして音楽に親しむ。	
文字・数・色・形への関心	文字・数・色・形への関心	○遊びや生活の中で、数に触れ、数えたり、比べたりする。 ○文字を使ったいろいろな言葉遊びを楽しむ。	遊びの中で文字・数・色・形とのかかわり	教科での文字・数・色・形の学習	○生活・学習場面で文字や数にふれ、その意味や書き方を知る。 ○生活・学習場面で人やもの数を数える学習を大事にする。		

覚 意	興味・関心	○生活や遊びの中で色や形、大きさなどの違いに気付く。	○生活や遊びの中で、興味、関心をもって比べたり、考えたり、試行錯誤しながら遊びを深める。	○興味・関心をもったことに集中、没頭して遊ぶ。	○もの色や形への興味関心を生かした活動をする。
芽 学 生 び え の	学びの芽生え	○様々な遊びの中で、興味、関心をもって比べたり、考えたり、試行錯誤しながら遊びを深める。	○興味・関心をもったことに集中、没頭して遊ぶ。	○生活や遊びの中で、興味、関心をもって比べたり、考えたり、試行錯誤しながら遊びを深める。	○園での遊びを通じた学びを生かし、子どもの興味関心を生かす生活科や合科的・関連的な指導を心がける。 ○丁寧な文字の書き方やノート指導を大事にする。 ○発言、発表場面など自己表現の場を徐々に増やしていく。

益田市版保幼小接続カリキュラム～益田市の自然・文化・食・人との触れ合いを存分に感じる活動を通して行う総合的な保育・教育～ 令和2年度 豊川保育園・豊川小学校 ②【主な支援と各機関のカリキュラム】

発達過程 項 目	5歳児アプローチカリキュラム			接続期のこどもにとっての段差	小学校1年生（6歳児前期）スタートカリキュラム（主な経験内容）	資質・能力		
環 境 構 成	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが主体的に学べるよう環境調整や人的配慮をする。 ○子どもが納得できるまで何度も繰り返し経験するなど、探究心や好奇心が満たされる時間を保障する。 ○子どもの興味・関心に応じて絵本や図鑑、写真等を用意し、遊びを深められるようにする。 ○絵表示等の掲示物で見通しが持てるようにする。 ○身の回りのものに絵表示やひらがなを表示する。 ○椅子を使った生活を少しずつ取り入れる。 			緩やかな時間での遊び 子どもの興味関心中心 絵表示中心の生活 椅子・机を使う経験が少ない	決められた時間での教科 与えられた課題 絵と文字表示による生活 椅子・机を使った生活	<ul style="list-style-type: none"> ○専科教員や管理職が支援したり、特別支援教育担当者に児童の様子を観察してもらい情報交換する。 ○時計（模型時計等）を用いて活動の終わりを意識できるようにする。 ○下校時刻を徐々に定時に近づける。 ○写真や動画、絵などを効果的に使うなど、導入時の工夫をしながら児童の関心を高める。 ○一日の生活の流れを児童が理解できる方法で視覚的に示し、見通しをもって生活できるようにする。 ○身の回りのものにひらがな表示をする。 ○大切なまじりや約束をわかりやすい言葉や絵などで提示する。 ○長時間の学習は避け、短い単位での学習を組み合わせることで徐々に45分間に近づける。 ○生活科で学校巡りを位置付け、子どもの気づきを活かしながら、学校への適応を図る。 	三 領 域 全 て に 関 わ る	
個 々 の 状 態 に 関 心 を 持 ち 合 わ せ た	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの姿や思いを理解し、子どもなりに意欲的な生活になるよう信頼関係を深める。 ○一人ひとりの良さを認め、自尊感情が高められるようにする。 ○子ども自身が、自分で考え行動したり、遊びをつくり出せるよう、子どもの主体性や子ども同士の関わりを尊重する。 ○様々な人とかかわる豊かな体験を通して、自己肯定感や自信が持てるようにする。 ○様々な体験を通して、健康で安全な生活に必要な習慣が身につくようにする。 ○友達と試したり工夫したりする環境を大切にし、互いのことを認め合う時間をもって達成感が味わえるようにする。 ○成長している姿を子どもと共に喜び合い、自分への自信をもつことができるよう見守る。 ○子どもが体感したことを子どもとともに言葉でなぞり、感動体験やその経験を話したり、聞いたりする機会を多くもつ。 ○子ども達の表情、感情、言葉などを丁寧に受け止め、認めたり、問いかけたり、ともに考えたりする。 ○就学に対する期待を高め、それを大切にしながら生活、行動できるようにする。 ○集団に向けて指示をする時は、子ども達が理解しやすいよう区切りながら説明する。 			担任との関係が確立 複数の保育者によるかかわり 小きい集団 生活や遊びを通して行う教育	担任との関係を築く 担任を中心としたかかわり 大ききい集団 教科カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ○生活や学習を通して子ども理解に努め、信頼関係を育む。 ○学校生活のルールは、場所と行動を合わせて具体的に理解できるようにする。 ○教室内の物を定位置に置くことができるように、印をつけたり入れる場所を明確にしたりする。 ○教科指導は焦らず繰り返し指導する。 ○言葉でのやり取りを通して、気づきや思いを深められるようにする。 ○個別指導等を行う際は、本人・保護者に丁寧に説明し、ほめながら意欲を引き出したり、学んだことを学級集団の中で生かしたりする。 ○目標・各種便り・鉛筆の正しいもち方・声ののさし・給食当番表等、情報を精選して子どもが理解し易いように掲示する。 		
保幼小連携交流	子ども	・第4回保幼小交流活動			・第1回保幼小交流活動	・第2回保幼小交流活動		
	職員	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の状態に関する情報交換会（教師の園への訪問・園からの小学校への訪問）・保育要録・幼児指導要録等・益田市版引き継ぎ書（必要な子どもについて）送付 ○交流活動についての事前打ち合わせ・振り返り 			・児童の状態に関する情報交換会（授業公開）			
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの生活習慣の確立や生活リズムを整える大切さを伝える。（登園時間、朝の排便等） ○子どもの成長を伝え、共に喜び、小学校生活に向けて大切なことを伝える。 ○園、小学校での出来事など子どもが思いや考えを話せるような時間をもつよう伝える。 							
主な単元内容	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	内容	お正月遊び お餅つき会 節分 給食試食会 はっぴょう会 お別れ遠足（アクアス） 保育参観日 お別れ会 卒園式			「はきはき あいさつ」（国語） 「よろしくね」（国語） 「ようこそ、1年生」（道徳）「勉強が始まりますよ」（道徳）「あいさつ」（道徳）「学校にはね」（道徳） 「どきどきわくわく1年生」（生活） 「学校大好き」（生活）「学校たんけん」（生活）「春をさがそう」（生活）「アサガオを育てよう」（生活） 「1年生を迎える会」（特活） 「家庭訪問」（学行） 「自己紹介をしよう」（学活） 「すきなもののいっぱい」（図工）「『自分マーク』でみんな友だち」（図工）「自然となかよし」（図工） 「なつだあそぼう」（生活） 「音楽にあわせて」（音楽） 「リズムとなかよし」（音楽）			

令和元年度

小学校の授業を保育士が見学

交流活動の前の打合せで、ねらいや目標を確認しながら活動内容を決めていく

交流活動の後のふり返りで子どもの姿や育ちについての意見交換

小学校教員による保育体験を実施

保小職員合同の研修会を開催

年間活動と接続カリキュラムのふり返りと次年度に向けた方針の協議

年 月 日	交流活動の内容等
H31.4.26	小学校授業参観・年間計画打合せ
R1.5.14	保小合同会議
R1.5.24	第1回交流活動「おさんぽ会」
R1.5.28	第1回活動ふり返り・打ち合わせ会議
R1.6.10	[公開保育]第2回交流活動「いも苗植え」
R1.6.13	第2回活動ふり返り会議
R1.6.27	第3回活動打ち合わせ会議
R1.7.4	第3回交流活動「運動会練習と創作活動」
R1.7.12	ふり返り会議
R1.9.6	保幼小連絡協議会研修会：実践発表
R1.9.18	連合運動会合同練習
R1.9.25	豊川地区連合運動会
R1.10.9	運動会ふり返り・第4回活動打ち合わせ会議
R1.10.16	第4回交流活動「絵の具あそび」
R1.11.6	第4回活動ふり返り・打ち合わせ会議
R1.11.12	第5回交流活動「さつまいも掘り」
R1.11.16	小学校発表会見学
R1.11.22	第5回活動ふり返り会議
R1.12.4	第6回活動打ち合わせ会議
R1.12.12	第6回交流活動「クッキング」
R1.12.19	第6回活動ふり返り・打ち合わせ会議
R1.12.25 26	小学校教員による保育体験
R2.1.23	第7回交流活動「お正月遊び」
R2.1.28	第7回活動ふり返り及び第8回打ち合わせ会議
R2.2.17	保・小・地区合同研修(保育園・小学校・放課後児童クラブ・公民館職員参加) 『島根県立大学 福井先生による小学校図工科についての研修』
R2.2.21	第8回交流活動「給食試食及び学校体験」
R2.3.17	保小合同会議(保小管理職参加による今年度の活動及び接続カリキュラムのふり返り)

年間計画・接続カリキュラムの確認

令和2年度

小学校授業が見学

年間計画・接続カリキュラムの確認

交流活動の前の打合せで、ねらいや目標を確認しながら活動内容を決めていく

交流活動の後のふり返りで子どもの姿や育ちについての意見交換

小学校教員による保育体験を実施

保小職員合同の研修会を開催

年間活動と接続カリキュラムのふり返りと次年度に向けた方針の協議

連携活動の意義を保護者や地域に伝える

R2.5.19	打ち合わせ	交流の進め方の話し合い・サツマイモ活動の日程決め
R2.5.20	第1回	交流活動中間休み～交流 ニンジン植え/しっぽ取りゲーム/ハンカチおとし（ねらい：なかよくなるう）
R2.5.26	第1回活動の	ふり返り
R2.6.3	さつまいもの	苗植え打ち合わせ
R2.6.9	第2回	交流活動 さつまいもの苗植え
R2.6.23	第2回活動の	ふり返り/次回の交流内容の打ち合わせ
R2.7.14	今後の	交流内容の打ち合わせ
R2.7.21	第3回	交流活動 川遊び/五右衛門風呂
R2.8.24	第3回活動の	ふり返り/次回の交流内容の打ち合わせ
R2.9.1	第4回	交流活動 マーチングのポンポン練習/人参収穫
R2.9.2	保小合同	運動会合同練習
R2.9.3	保小合同	運動会合同練習
R2.9.16	幼小連携・	接続研究事業研修（島根県教育委員会・幼児教育センター）
R2.9.23	保小合同	運動会（予行練習）
R2.9.28	小学校	運動会参加
R2.10.8	第4回活動以降の	ふり返り/次回の交流（第5・第6）の打ち合わせ
R2.10.15	第5回	保小交流 さつまいも掘り
R2.10.26	第6回	保小交流 園外交流（万葉公園）
R2.11.11	小学校	発表会予行練習の見学
R2.11.19	第5・6回	活動のふり返り/次回の交流内容の打ち合わせ
R2.11.24	第7回	保小交流 秋まつり（研究授業）
R2.12.18	第7回活動の	ふり返り/教員による保育体験・次回交流の打ち合わせ
R2.12.2	とよかわの	未来をつくる会ひとづくり部会で取組みを説明
R2.12.28・R3.1.7	小学校教員による	保育体験（28日5名、7日4名参加予定）
R3.1.27	第8回	保小交流 昔あそび（こま回し・凧作り）
R3.2.22	小学校	保育園職員合同研修会（島根県立大学福井先生・表現活動）
R3.2.24	学校体験（給食試食・掃除・昼休み）～	地域授業公開日（保護者・地域住民）
R3.3未定	保小合同	会議（年間の振り返り、接続カリキュラムの検証・次年度の計画）

行事等実施計画書

日時	令和元年 6月10日(月曜日)		実施場所	小学校 畑	実施人数	小学校：1年生⑥ 保育園：年長⑨
行事名	保小交流(第2回目) さつまいも植え — 公開保育 —					
ならい	○さつまいもの植え方を知り、楽しんでする。 ○楽しい時間を共有し、関わりを深めていく。					
時間	環境構成	子どもの姿 小学生 保育園児		配慮事項(小学校)	配慮事項(保育園)	
~9:00		○1時間目授業	○順次登園 ・水分補給・衣服調整 ・排泄 ○保育園出発	*名前が書かれたガムテープを帽子つば上に貼り付ける。 ・忘れ物がないか持ち物をチェックする。	・体調面の把握。 ※水分補給・排泄済ませる ・小学生とさつまいも植えをするということを伝えて、出発する。 ・手をつないで小学校まで、安全に歩く。	
9:20	・カメラ ・救急道具 ・軍手を持っていく					
9:30	日差しが強い場合は、日陰に集まる。(昇降口付近) 進行→小学生	○小学校集合 ・小学生(保育園児)と対面&挨拶 ・司会をする (1)約束・目標について話す (2)活動予定を話す ①ペアになり、一緒に看板に名前を書く ②裸足になり、畝をつくる(スコップ使用) ③マルチをかけて穴を空ける ④さつまいもの苗植え		・はじめの会がスムーズに出来るよう進行カードを渡す。	・しっかりと話を聞く。 ・子ども達の様子を観察し、発言やつぶやきに耳を傾けるようにする。	
9:40	活動開始					
9:55	小学校先生：畑に誘導	①ペアになり一緒に看板に名前を書く ○出発(畑に行く) ~保小ペアになって移動する~		・小学生が保育園児を誘い、看板と一緒に名前を書いていく。文字が書けない子もいるので、そういう子には小学生が書いてあげるようにする。 ・担当の子に進んで声をかけて手をつなく。	・恥ずかしがる子には側につき、自然になじめるようにしていく。 ・お世話してもらいながら、一緒に歩く。援助が必要な子のところには、大人がつき一緒に歩く。	
10:00		②裸足になり、畝をつくる(スコップ使用) ③マルチをかけて穴を空ける ④さつまいもの苗植え		・お手本を子どもに示させる。 ・ペアの子のお世話をしながら協力して植えていく。 ・マルチに書いてある線を基準にサツマイモの苗を植えていく。 ・水やりをし、生長を楽しみにする。 ・自分のmy畝の苗植えを終えたペアはほかの子のお手伝いもしていく。	・小学生の園児への接し方や、子ども達の表情や態度等もしっかりととらえ、観察をする。 ・子どものつぶやきや、発見等に、目や耳を傾け、一緒に感じていく ・公開保育で来られている方にも手伝っていただき、一緒に活動を楽しんでいただく。	
11:00		○片付け		・協力して片づける。 ・リードしながら一緒にしていく。	・小学生の話を聞いて、一緒に片づけ生長を楽しみにできるようにする。	
11:10	小学校先生：昇降口に誘導	小学校体育館前へ移動。(足を洗って靴を履く) ・保育園児と手をつないで歩く。 ・小学生と手をつないで歩く。		・順番に足を洗っていく。洗った子から靴を履き、みんなが靴を履けるまで待ち、一緒に小学校昇降口に向かうようにする。	・お世話してもらいながら、一緒に歩く。	
11:20	進行→小学生	○小学校昇降口に集合 *今日の振り返り ・楽しくてき目標が守れたか ・どんなことが楽しかったか ・どんな発見をしたか 等、発表する ○今後の予定を伝える。 ○挨拶をし、解散する。		・朝と同じような体系に並ぶ。 ・振り返りができた児童を認める。 ・生長を楽しみにし、畑を進んで観察できるように促していく。	・発言できる子は、小学生と一緒に手をあげて発表する。 ・自分が感じたことを表現する。	
11:30		○小学校到着	○保育園到着		・着替え、排泄、手洗い、うがいを する。	
備考	苗~100本 マルチ スコップ ポスターカラー(看板) *汚れても良い服で活動を行う。畑では裸足で作業する。			準備する物 (全体)カメラ・救急道具・笛・軍手・タオル(足ふき用) (水やり)バケツ・ペットボトル		